

スポットライト

(財)茨城県中小企業振興公社の知的所有権センターの技術移転推進事業を活用し、パンの焼成型の製造に取り組むIMC(株)をご紹介します。

パンの焼成型製造で新分野への事業展開を狙う！



同社で製造する砂時計

同社は、板金・製缶加工を専門とし、40年の実績がある。

「自分たちがほしくなる製品を作る。」が、同社のモットーと並木社長は話す。

同社の強みは、薄物の精密板金加工技術と、製缶の厚物加工技術を融合した複合技術により、お客様のニーズに幅広く対応した物流システムや油圧システム、工作機械で使われる高精度な金属部品を製造できることだ。

高い加工技術がお客様から評価され信頼を得てきた同社であるが、他社との競争も激しくなりつつある。「業績を順調に推移させるためには、これまでの受注生産に加え、自社製品による新分野への事業展開が必要」と並木社長は強調する。

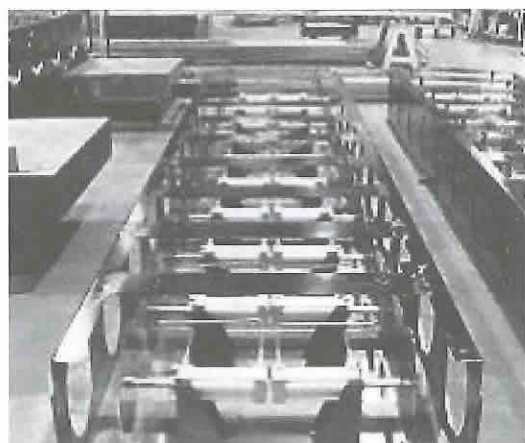


収納棚

IMC(株)

【会社概要】

- 代表取締役 並木 俊一郎
- 住所 古河市東山田2635-1
- 設立 昭和42年 5月
- 電話 0280-78-1710
- FAX 0280-78-2373
- E-Mail s.namiki.imc@gmail.com
- URL <http://www.n-imc.co.jp/>



産業用集塵機

新たに展開する分野として選んだのが、同社の技術・ノウハウを十分に活かせるパンの焼成型の製造だ。

しかし、同社が考えたパンの焼成型を製造するには、それらの製造技術を保有する企業から特許技術の利用許可を得る必要があったが、ロイヤリティーの問題があったため、特許流通アドバイザーに相談し、先方と交渉した結果、安価で実施許諾契約を締結することに成功した上、先方から、販売チャンネルの紹介まで協力を得られることとなった。

今後は、利用許可を得たパンの焼成型製造技術をベースに、同社の技術を加えた独自のパンの焼成型製造技術確立する考えだ。